

■殺虫殺菌剤：家庭園芸用

DBEDC剤

サンヨール[®]

成分 DBEDC………20.0%

物理的・化学的性状 淡青色乳剤

登録番号：9625

毒性：—

消防法：第2石油類

有効年限：5年

包装：100ml×60

◆特長

- 野菜と花の病気や害虫の防除に最適です。
- 適用作物や適用病害虫など広範に登録があります。
- 薬害が少なく、化学的、物理的に安定した薬剤です。

◆適用と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DBEDCを含む農業の総使用回数
麦類	うどんこ病	400～500倍	60～150ℓ	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
小麦	赤かび病	400倍	／10a				
さやえんどう	うどんこ病	500倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日まで	4回以内		4回以内
実えんどう	灰色かび病						
なす	うどんこ病	700倍					
	すすかび病						
トマト ミニトマト	葉かび病	500倍					
	灰色かび病						
	うどんこ病	500～700倍					
ピーマン 甘長とうがらし	うどんこ病	500倍					
	アブラムシ類						
きゅうり	べと病						
	うどんこ病						
	コナジラミ類						
	アブラムシ類						
すいか メロン うり類(漬物用) にがうり	うどんこ病						
	アブラムシ類						
	ハダニ類						
かぼちゃ ズッキーニ	うどんこ病						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DBEDCを含む農薬の総使用回数
いちご	うどんこ病	500倍	-	定植前	1回	瞬間～5分間 苗浸漬	6回以内 (定植前の 苗浸漬は 1回以内)
		800倍				5分間 苗浸漬	
	500～1,000倍	収穫前日まで				6回 以内	
花き類・ 観葉植物 (きく、ばら、ペチュ ニア、スターチス、 プリムラ、パンジー を除く)	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	500倍	100～300ℓ ／10a	発生初期	8回 以内	散布	8回以内
うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 白さび病 黒斑病 アブラムシ類 ハダニ類							
きく	うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 白さび病 黒斑病 アブラムシ類 ハダニ類						
ばら	うどんこ病	500～1,000倍	100～300ℓ ／10a	発生初期	8回 以内	散布	8回以内
	灰色かび病 黒星病 アブラムシ類 ハダニ類 チュウレンジハバチ	500倍					
ペチュニア	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類						
	ナメクジ類						
スターチス プリムラ パンジー	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	500倍	100～300ℓ ／10a	発生初期	8回 以内	散布	8回以内
樹木類 (つつじ類を 除く)	うどんこ病 アブラムシ類						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DBEDCを含む農薬の総使用回数
つつじ類	ツツジゲンバイ ツツジコナジラミ うどんこ病 アブラムシ類	500倍	200～700ℓ ／10a	発生初期	8回以内	散布	8回以内
	たばこ		うどんこ病	25～180ℓ ／10a	—		
日本芝	葉腐病(ラージパッチ) さび病	300～500倍	0.5ℓ／㎡	発生初期	8回以内		

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- ハウス又は露地栽培で高温時の場合に葉の変色等の薬害を生じるおそれがあるので、その場合は使用をさけること。
- 多湿下の施設内で使用する場合は、散布した薬液が速く乾燥するように通気性をよくして散布すること。
- いちごの灰色かび病防除に使用する場合多発時には効果が劣ることがあるので、発生初期に予防的に使用すること。
- いちごの苗浸漬に使用する場合、根を露出した状態では薬害を生じるので、ポット苗（ポットをつけたまま）以外に使用しないこと。
- スターチス、パンジー、ペチュニア、プリムラに使用する場合、花卉に変色症状等の薬害が生じるので開花中は使用しないこと。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

◆安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けること。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けること。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 薬液調製時及び使用の際は保護眼鏡、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札をたてるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

◆魚毒性

この登録に係る使用方法では該当がない。